



第1回 絆創高工場見学：絆が深まりました



スキンケアの実習：愛護的ケアを自分の体で学ぶ



排泄ケア：正しいおむつの当て方



頭側挙上を体験

図1 “在宅WOCサロン”の様子①
講義だけでなく、実習で学びを深めている



褥瘡ケアに必要な栄養素は？



関節拘縮のポジショニングは、まず、患者さんになってみる



ストーマケアの実習：心と技を磨く



在宅への想いを熱く語り合う。笑いと涙と感動と

図2 “在宅WOCサロン”の様子②
講義と実習の後は、おいしいお茶とお菓子をいただきながら、お互いの熱意と情熱を語り合う

訪問看護師教育

宮城県看護協会では、長期にわたり訪問看護師養成講習会や病院・訪問看護ステーションの相互研修のなかにストーマケアを取り入れてきました。筆者も講師として、実習付きの講義やWOCセンターへの実習の受け入れなども行ってきました。

2012～2014年までに、宮城訪問看護ステーション連絡協議会の技術研修として、年間60名の訪問看護師がストーマケアの研修を受講しています。また、2015年10月からは、日本訪問看護財団と宮城県看護協会が主催する訪問看護師研修が開催されており、ストーマケアは、在宅看護に関する研修として、①e-ラーニングを活用した訪問看護師養成

講習会があり、e-ラーニングの座学終了後に訪問看護ステーションでの実習が行われています。また、②訪問看護師育成支援研修では、“ストーマケアを実習しよう”というタイトルで、講義と実習が年2回開催されています。いずれも、宮城県看護協会の訪問看護認定看護師や、訪問看護師のWOCナースが中心となって企画・運営を行っており、いずれも大人気の研修となっています。

今後は、さらに訪問看護師と県内のWOCナース間との連携を深め、ストーマケアの質の向上をめざしていく必要があると考えています。

介護サービス担当者のためのストーマ講習会

2011年7月5日の厚生労働省からの通達により、専門的な管理を必要としない場合のストーマ装具交換は、原則として医療行為に該当しないことが明文化され、介護サービス担当者（ヘルパーなど）によるストーマ装具交換が認められました。実施にあたっては、ストーマケアの教育を受けていることが望ましいとされており、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会が「介護サービス担当者のためのストーマケア講習会用の学習目標」を作成し、全国で講習会が開催され、2016年2月までに全国で約1万6000名が受講しています。

東北地区では、各県で年2回以上の開催を推進



図3 介護サービス担当者のためのストーマケア講習会
みんな真剣に講義を聴いている。この後、実習と修了書が待っている

しており、すでに650名が受講者しています。宮城県では、震災で甚大な被害を受けた被災地を優先に、県内3か所で年3回実施しています(図3)。